

九州農試ホームページにおけるアクセスカウンタプログラム

柴田静香 (九州農業試験場)

Shizuka SHIBATA : Access Counter on KNAES Web

1. はじめに

ホームページのアクセス状況を調べるためには、詳細については Web サーバの httpd のログを解析する必要があるが、アクセス数に限定すればアクセスカウンタを設置し、表示することもできる。

九州農業試験場ホームページにおいても、アクセスカウンタの設置を求める声があり、アクセスカウンタプログラムを作成してアクセス数のカウントを行い、トップページに表示した。その後、トップページ以下の各ページへのカウンタの設置を容易にすべく、グラフィック名アクセスカウンタプログラムを導入し、いくつかのページにアクセスカウンタを設置した。

2. アクセスカウンタについて

アクセスカウンタとは、あるページを訪問した回数をカウントして表示するものであり、多くのサイトにも設置されている。通常は、SSI による方法、CGI プログラムを書く方法、グラフィックアクセスカウンタを導入する方法の3つの方法がある。

3. CGI プログラムによるアクセスカウンタ

初回のアクセスカウンタは、Perl でカウントと表示をさせるための CGI プログラムを作成して表示した。このプログラムは、プログラムとカウント数が記録されているファイルから構成されている。プログラム部分では、アクセスがあった場合に、カウント数が記述されているファイルのカウント数を読み、読みこんだ値を1増やした後、その値を決められた場所に表示させた。

カウントファイルを読みこむ

↓
カウント数に1を加える

↓
カウントの数を表示する

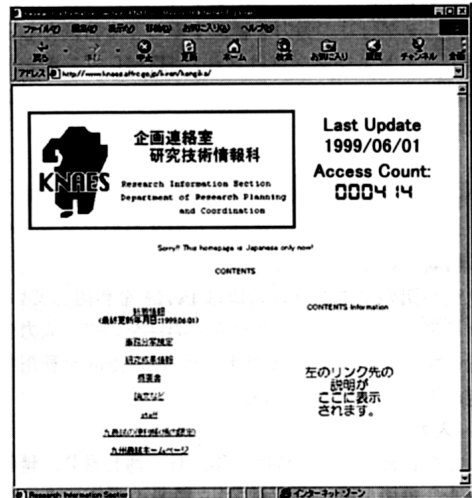
カウント数が記述されているファイルが破壊された場合には、カウント数がリセットされ1から表示される。この現象は、同時に複数のクライアントからアクセスされたときに起こるため、この同時アクセスにも耐えるために、カウンタを読みこんでから表示するまでの間、ファイルをロックし、同時のアクセスに対応できるようにした。また、カウントと同時にアクセスログも作成し、それでも破壊が起きた場合への回復に備えた。

4. グラフィックアクセスカウンタの導入

九州農業試験場では、現在各研究室などで研究室毎のページを作成している。研究室でのカウンタの設置を希望するところもあり、グラフィックアクセスカウンタプログラムを導入し、1行記述するだけでカスタマイズも可能なグラフィックアクセスカウンタを導入した。

例えば、研究技術情報科では、以下のように記述してアクセスカウンタを表示している。

```
<IMG SRC="http://www.knaes affrc go.jp/cgi-bin/
Count cgi?srgb=green&prgb=blue&tr=T&trgb=black
&dd=D&df=kengikaindex dat&md=6&ft=0">
```



プログラムの場所に続き、カウンタの設定はさまざまなオプションを利用して設定することが出来る。

df 以下に書かれている kengikaindex dat はカウント数を記述しているファイル名で、このオプションは記述必須項目となっている。このファイルはカウンタを設置する際に指定されたディレクトリに自動的に作成される。複数のページから同じ名前のファイルが指定された場合は、両方のページのカウンタ数が合わせてカウントされることになる。その他、カウント数を表示するための数字の画像ファイルの種類、数字の表示桁数、色、外枠の太さなどをオプションで設定を行うこともできる。